

平成26年度 4年生以上生活アンケートの考察

(各項目の左の数字はグラフの項目に対応しています。)

- 1 88%の児童が学校に行くのを楽しみにしています。他の児童も楽しく登校できるように環境を整えていきます。
- 2 88%の児童がクラスの人々と仲よく生活をしています。学級の中で一人一人のよさが認められるよう学級づくりに努めます。
- 3 A・B評価が48%と、教師への相談がやや少ない状況です。児童との対話を増やし、より話しやすい教育相談を行っていきます。
- 4 73%の児童が、A・B評価です。本時の目標とねらいをきちんと掲げ、わかりやすい授業をすすめるようにします。
- 5 75%の児童が朝のスピーチや友だちの話を聞いたりするのが楽しいと答えています。
- 6 80%の児童が運動場で遊ぶことができるようになりました。外で遊べる子は心も育っています。冬季体力づくりは、「ジョキング・短なわとび」に取り組んでいます。
- 7 秋の読書週間には、図書委員会が計画し、読書に取り組むイベントを実施しました。昼放課や授業中の図書館の利用も進んでいます。「家読」もご家庭で参加していただけています。
- 8 86%の児童が進んで自分の役割に取り組んでいます。それぞれの委員会で日常的な活動をすすめることができています。
- 9 79%の児童が「あいさつ」を進んで行っていると答えています。毎週、生活委員会の児童が正門であいさつ運動を行っています。また、毎学期、有志を募り学級ごとにあいさつ運動もすすめています。
- 10 多くの作品を読ませ、国語の力や豊かな心の育成に努めます。今年度は校内の「南吉学習」発表が中心でした。
- 11 A・B評価が60%と、充分にできていない評価となりました。返事・言葉遣い等今後とも指導をすすめていきます。
- 12 73%の児童が家庭学習に頑張っており取り組んでいると答えています。時間や内容についてはまだ不十分のようです。予習や復習の習慣をつけ、授業に備える態度を養っていきます。
- 13 93%の児童が朝食をきちんと食べています。1日の生活の第一歩は朝の食事から始まります。良好な生活を送ることができる環境が整っています。
- 14 午後10時前に寝る児童は61%です。大人の生活時間に合わせるのではなく、子供の生活にとって必要な睡眠時間を確保できると良好な成長が望めます。
- 15 50%の児童が家庭で1時間以上のゲームやインターネットを行っています。割合としては多いようです。ご家庭でゲーム等の使用について話し合い、家庭のルールを守るようにしていただけるとよいと思います。
- 16 54%の児童が家庭でお手伝いをしています。年齢に応じた家庭での役割を果たすことにより、生活能力が高まり、責任感も育ちます。
- 17 76%の児童が家庭で学校の話をしています。ご家庭で学校のできごとについて話をする事により、子どもの表現力は高まり親さんは困っていることの発見につながります。
- 18 69%の児童が地域の活動に参加しています。昨年度よりやや減少をしています。ご家庭でも、お祭り・スポーツクラブなど地域の活動に参加することにより、地域に根付いた「岩滑の子」が育ちます。
- 19 A・B評価が61%と、まだまだ充分にできていない評価となりました。学校でも家庭でも後片付けの習慣をつけるようすすめていきましょう。